

河川事業

安全・安心な暮らしのために
継続的な治水対策と管理を行っています。

荒川の治水事業

流域の概要

荒川水系は、その源を山形県西置賜郡小国町の大朝日岳（標高1,870m）に発し、山間部を南西に流れ、越後平野の北側を横断して日本海に注ぎます。幹川流路延長73km、流域面積1,150km²の一級河川です。

荒川流域は山形県、福島県及び新潟県にまたがり、新潟県岩船地方及び山形県西置賜地方の基盤をなす地域です。荒川沿いの交通網の整備によって、東北地方と北陸地方を結び交通の要衝として発展してきました。また、豊かな緑と清らかな荒川の流れば、古くから人々の生活を支え、文化を育んできました。

直轄管理区間



荒川水系 流域治水プロジェクト

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域と捉え、地域の特性に応じてハード・ソフトの両面から「流域治水」を進めています。荒川水系では上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村・利水ダム管理者が一体となって「荒川水系流域治水プロジェクト」を進めています。

プロジェクトの主な事業

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

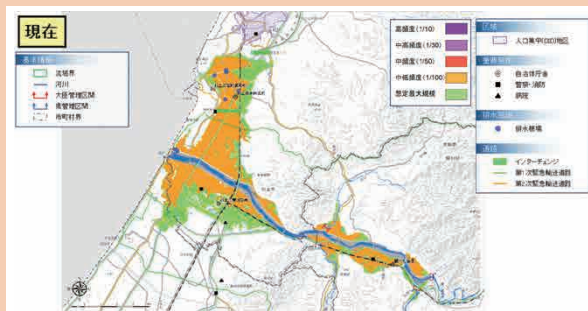
- ・河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化（浸透対策）等【羽越河国、新潟県、村上市】
- ・砂防関係施設の整備【飯豊砂防、新潟県】
- ・公共下水道雨水幹線の整備【村上市】
- ・既存ダム5ダムにおける事前放流等の実施・体制構築【羽越河国、荒川氷力、赤芝水力、東北電力】
- ・田んぼダムの取組【新潟県、村上市、荒川土改】
- ・ため池の防災水管理【山形県、新潟県、村上市】
- ・森林整備対策（間伐、林道整備等）【置賜森管、下越森管村上支署、森林整備センター、新潟県】
- ・治山対策【置賜森管、下越森管村上支署、山形県、新潟県】



高圧排水樋管フラップゲート化

被害対象を減少させるための対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実



リスクマップの作成

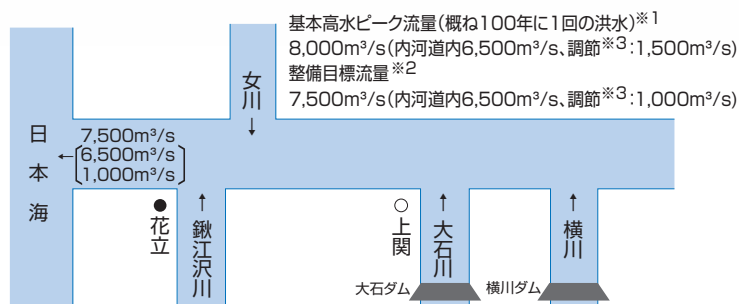
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・避難体制の強化（ハザードマップ作成周知、マイタイムラインの普及促進など）
- ・土地の水災害リスク情報の充実（中小河川における浸水想定区域図作成）
- ・経済被害の軽減（排水計画検討等、林道整備の推進（災害時に代わって代替路機能））
- ・関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化（災害時等のJETT派遣及び気象支援資料の提供）



地域住民に対するハザードマップ説明会（関川村）

荒川計画高水流量図



基本高水ピーク流量（概ね100年に1回の洪水）※1
8,000m³/s（内河道内6,500m³/s、調節※3:1,500m³/s）
整備目標流量※2
7,500m³/s（内河道内6,500m³/s、調節※3:1,000m³/s）

※1:荒川水系河川整備基本方針（H14.4.4策定）
※2:荒川水系河川整備計画（H16.3.10策定）
※3:洪水調節施設による調節